

# 白中雑口把覧 (ザックバラン) No. 31

～ 白沢中の”今”を、ご覧ください ～

発行 令和2年11月11日

## 校長の白沢学その26 「養蚕その4 今村式飼育法」

前号に続き、もう一人の養蚕の先生・今村満次郎さんを紹介したいと思います。今村満次郎さんは、明治31年(1898)5月、現在の沼田市奈良町に生まれました。大正2年池田小学校高等科を卒業後、しばらく家業にたずさわっていましたが、大正11年、24歳の時、佐波郡豊受村(現在の伊勢崎<sup>おもひ</sup>市)蚕業長沼社養蚕伝習所に入所しました。大正13年に卒業すると、新治村へ赴いて実施指導に専念しました。昭和3年、30歳の時、群馬県令に基づく養蚕教師を拝命し、引き続き新治村東部養蚕組合を6年間にわたり指導しました。

昭和8年、現在の沼田市利根町大原に「大原催青所」を設立し、片品・東・赤城根村にわたって、養蚕指導に一生を捧げる覚悟と情熱をもって、夫人と共に現地に住みました。その間、独自の「今村式飼育法」を開発し、実績を上げていきました。本人の指導法を物語る逸話が残っています。「わたしは中樞半端な者には教えない。わたしの対象となるのは養蚕方法を知らない人と下手で失敗ばかりしている人だ。一度わたしの弟子になると決めたからには3年間9回の飼育については責任をもつ。その代わり、わたしの言うことには絶対服従の態度をとってもらう。」養蚕という仕事は農家経済の死活問題だったわけですから、3年間の責任を持って教えるということは、絶対の自信があったものと思われま

す。こうした指導は多くの人から感謝されました。その結果として、現在も見ることができますが、昭和15年に奈良町東部の山林に「蚕<sup>か</sup>養神社」が建立されました。これは利根片品方面の今村式養蚕飼育者有志により、今村満次郎の徳を慕い、茨城県にある日本最初の「蚕養神社」から分霊したものだそうです。



↑ 蚕養神社遠望



↑ 蚕養神社鳥居



↑ 今村先生頌徳之碑



↑ 蚕養神社社殿

## 【文化祭・体験学習】

11月1日（日）に白沢中学校の文化祭が行われました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため合唱は行わず、体験学習のみの実施となりました。

この体験学習は、今年から始めた『白沢学』の実践の場であり、メインとなる活動です。『白沢博物館（白沢町全体）』から以下のように、たくさんの学芸員の先生を招き、お世話していただきました。ありがとうございました。

華道	坂口文子さん 吉野静子さん 横坂英子さん
すみ絵	高橋二三子さん 藤井秀子さん
竹細工	金子勝夫さん
ゲートボール	藤井富美江さん 小菅徳恵さん 樋口喜四枝さん 大河原節子さん
小物づくり	栗原智美さん 大河原良栄さん
絵画	山口千代子さん
将棋	栗原定夫さん 栗原光男さん 藤井美知男さん 岸博明さん 小野和夫さん 角田秀雄さん
お琴	林千佳さん 小野輝美さん
自然史博物館講座	橋本真里子さん



Memory  
of  
Best  
Friends.